

## 生協組合員証のアプリ化について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2022年10月20日)

生協の組合員証が令和5年1月からアプリに変わるとの話を耳にしました。

その記載によれば、電子マネー決済機能も学生証からアプリに移行するとのことでした。

端的に申し上げてこのことには反対です。以下理由を述べます。

### 1.周知・意思決定について

そもそも周知が不十分で、遅いように思います。先日のHPの公表の他は生協各店舗に掲示があるのみであったように思われます。KULASISでの周知(キッチンカーの予定表は掲示されているので不可能ではない)や、メール送信などでの周知を登録期間より充分前もって行われるべきであろうと思われます。また、とりあえずアプリに移行することだけが決まっているような印象を受けます。例えば今までの組合員証はどうなるのか、電子マネーへのチャージは今まで通り現金のみなのかなど仕様については一切不明です。また、このような重要な決定に関して前々から十分な議論を起こそうというようなことがなかったことも問題だと思われま

### 2.組合員証機能の移行について

現在組合員証は学生証の裏面に金色のシールを貼ることで行われています。それがスマホアプリに移行するとのことでした。しかし、生協の主要な組合員である学生は当然全員学生証を持っている一方で、スマホを持っている前提で組合員証をアプリに移行することは若干無理があると思います。学生証裏面とスマホアプリの選択的併用を認めれば済む話かもしれませんが、そのような煩雑処理が生協の各会計窓口で可能とも思えません。

### 3.電子マネー機能の移行について

参考に掲げたリンクによれば「これまでは、学生証や認証ICカードで電子マネー決済をご利用いただいていたのですが、2023年1月からは、カードではなくアプリで電子マネー決済をお願いいたします。」とあります。電子マネーでの決済は主に食堂で使われているものと思われる。現在のICカードの決済より、アプリ内QRコード決済の方が決済に時間がかかることは明白であると思われます。つまり、アプリを開き、QRコード画面を表示して読み込むという一連の流れがトレーを移動させる会計レーンの中で行うのに時間のかかるものだと言えます。また、QRコード決済の場合セキュリティ上ワンタイムのコードを表示するためにインターネット接続が必須になるわけですが、食堂などでのKuins-Airやデータ通信の強度がそこまで強くないことなどを考えると通信トラブルもICカード決済に比べて頻発するだろうと思われます。

以上のような考慮を踏まえると食堂の混雑は恐らく今以上の物になるだろうと言うことが想定できます。また売店の場合でも同様にトラブルが今以上に頻発することは間違いないでしょう。

1～3.に述べた通り、組合員証のアプリ移行は性急というばかりでなく、転換するだけの実益があるものと云えないと思います。既定事項なのかかもしれませんが、中止を求めます。

参考

[https://www.s-coop.net/information\\_seikyo/view.php?id=1320](https://www.s-coop.net/information_seikyo/view.php?id=1320)

【回答】(回答日:2022年10月25日)

(回答部署:京都大学生協)

お問い合わせありがとうございます。

今回のアプリへの移行は、業務を委託している大学生協事業連合が2023年1月1日にレジシステム変更を行うことによります。つきましては、事業連合に加盟する全国の大学生協で組合員証のアプリ化がすすめられます。

#### 1.周知・意思決定について

周知が遅れており申し訳ございません。アプリのインストールを可能にするための準備に時間がかかったことで周知が遅くなりました。引き続き仕様について広報に努めます。

#### 2.組合員証機能の移行について

今回の変更では、アプリの提示による電子マネー、ミールシステムの利用や様々なフェアでのポイント還元を行います。単に、組合員か非組合員かを判別するだけではなくアプリをご利用頂くことで便利さやお得感を実感頂けるように考えております。また、スマホをお持ちでない方は、Webでの連携手続を行うことで引き続き学生証、職員証などで利用頂けるように致します。

#### 3.電子マネー機能の移行について

電子マネーは食堂だけではなく、ショップ等でも広くお使い頂いています。電子マネー、ミールシステムの利用にはバーコードの表示が必要になります。ご指摘の通り表示に時間がかかると混雑の原因となりますので事前にスマホを準備して頂くなどご協力を頂きたいと思っております。